

うちどく 家読をはじめましょう！



家庭用資料

「家読」推進運動は、県教育委員会で行き組む「しなやかな心の育成プロジェクト」の一環です。県HPから「しなやかな心」で検索

今なぜ「家読」なの？

その背景には、子どもが家庭に生まれ、地域や社会との間で、また親と子の間で、ごく自然に行なわれるはずの、様々なかかわりを持ちながら成長していくことが、難しくなっているという問題があります。

子どもの成長は待ってくれません。大切なことは、家庭・地域・学校それぞれが、互いに協力・協働して子どもの成長のために必要な、今できる取り組みを工夫して実践していくことです。

「家読（うちどく）」は、意識をちょっと変えるだけで、すぐに始められます。県教育委員会では、読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしようと、家読運動を推進しています。

家読って何？

- ・家族みんなが「おうちで読書」を略して、「うちどく（家読）」です。
- ・読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしようという試みです。

学校では、「朝読（あさどく）」が行なわれています。山梨県では、高校の73%、中学校の89%、小学校の98%で実施しています。※

家読のやり方は？

- ・やり方に決まりはありません。
- ・家族一緒に読書を楽しむ時間を過ごし、そこから広がるコミュニケーションを大切にしてください。
- ・「我が家流」が一番です。

家族で同じ本を読む、それぞれが選んだ本を読む、新聞や趣味の本を読む、子どもに読み語りする。そして読んだ本のことを話すなど、いろいろなやり方を工夫してみてください。

家読の日

- 家族で家読の日を決めましょう。県では、家読の日として
- ・第1日曜日 「家庭の日」
 - ・第3日曜日 「青少年を育む日」を呼びかけています。

家読の日は、ノーテレビ・ノーゲームの日に。コミュニケーションで、家庭が家族の心地よい居場所になります。

※朝の読書推進協議会調べ(H24,7,31)

お問い合わせ

山梨県教育庁社会教育課 甲府市丸の内1-6-1

TEL 055-223-1773



家読の感想をお寄せください。

しなやかな心の育成プロジェクト「てをつなぎ ころを ゆたかに しなやかに」